

# GraSPP

THE UNIVERSITY OF TOKYO

## ERES 公開フォーラム 2016

プレイスメイキングと  
タクティカル・アーバニズム  
～公共空間の活性化に向けた新たな取り組み～

日時

2016年11月11日(金)

14:00 - 17:00 (開場 13:30)

会場

東京大学本郷キャンパス

伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

入場  
無料

事前申込制

主催：東京大学公共政策大学院

ERES

不動産証券化の明日を拓く (三井不動産)  
Envisioning Real Estate Securitization

## ■開催趣旨

『プレイスメイキング』とは、都市空間、とりわけ公園や道路あるいは河川敷などの公共空間を居心地の良いものにし、賑わいを創出していくことを通じて公共空間の質と魅力を高め、まちの価値を上げていこうという取り組みの総称です。これまで我が国では、公共空間は主として行政によって整備され管理運営されてきたため、市民にとっては必ずしも使い勝手の良いものではありませんでした。しかし、近年は指定管理者制の導入や占用許可基準の緩和などを通じて民間活力を積極的に導入することで、公共空間の魅力の向上を図ろうという気運が盛り上がりつつあります。

一方、プレイスメイキングの具体的手法として近年米国を中心に注目を集めているのが『タクティカル・アーバニズム』です。タクティカル・アーバニズムとは、市民主導のボトムアップアプローチで公共空間の活用に取り組むことを通じて、公共空間の利用方法や規制のありかたについて市民と行政の双方が議論する契機としようというムーブメントです。

本フォーラムでは、まず第一部の基調講演で国土交通省の中村様よりプレイスメイキングに関する同省の取り組みをご紹介いただいたうえで、第二部のパネルディスカッションでタクティカル・アーバニズムに造詣の深い専門家の方々からお話を伺うことを通じて、公共空間の魅力向上の可能性と課題、あるいは行政・民間・市民それぞれの関わり方などについて、多様な視点から議論を深めていきたいと考えます。

※本フォーラムは、寄付講座「不動産証券化の明日を拓く(三井不動産)」の研究・交流活動の一環として行われます。

## ■プログラム

(司会進行) 特任教授 辻田昌弘

14:00-14:05 主催者挨拶

東京大学公共政策大学院院長 飯塚敏晃

14:05-14:10 寄付者挨拶

三井不動産株式会社専務執行役員 川本正一郎氏

14:10-14:50 基調講演

『官民連携まちづくり、プレイスメイキングに関する  
国土交通省の取り組み』

国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室長  
中村健一氏

15:00-17:00 パネルディスカッション

『タクティカル・アーバニズムとはなにか』

泉山墨威氏 明治大学理工学部建築学科助教  
(一社)パブリック・プレイス・パートナーズ代表理事  
ソトノバ | sotonoba.place編集長

村山顕人氏 東京大学大学院工学系研究科准教授

倉成英俊氏 (株)電通電通総研Bチームリーダー  
アクティブラーニングこんなのどうだろろ研究所所長

中村健一氏 国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室長



### 中村健一氏(なかむら けんいち)

国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室長

1965年生まれ。大阪府豊中市出身。1990年建設省（現・国土交通省）入省。河川局治水課都市河川室課長補佐、富山県土木部都市計画課長、岡山市都市・交通・公園担当局長、都市局街路交通施設課企画専門官、仙台市都市整備局兼復興事業局理事を経て、2015年1月より現職。（部署名は全て当時）現職では、公民協働によるまちづくり施策の企画、実施等を担当し、水辺空間でのオープンカフェ等設置制度の利活用（河川局）、都市公園の利活用（富山県）、中心市街地での通行規制によるイベント開催（岡山市）、駅前広場等交通結節点の整備と利活用（街路交通施設課）、リノベーションまちづくり（仙台市）等の業務経験も活かしつつ、取り組んでいる。



### 泉山墨威氏(いずみやま るい)

明治大学理工学部建築学科 助教

一般社団法人パブリック・プレイス・パートナーズ代表理事  
ソトノバ | sotonoba.place編集長

1984年札幌市生まれ。2015年9月明治大学大学院博士後期課程修了。博士（工学）取得。パブリックスペースとエリアマネジメントを専門とするタクティカル・アーバニスト。リサーチャー・プロジェクトデザイナー。公開空地や道路占用許可の特例・国家戦略特区等のパブリックスペースの規制緩和制度に精通するほか、池袋等で道路活用実験の実践も経験。パブリックスペースのほかにエリアマネジメントや都市経営などの研究や実践プロジェクトに携わる。全国エリアマネジメントネットワーク事務局、認定NPO法人都市計画家協会理事、特定非営利活動法人まちづくりデザインサポート事務局。著書に、「市民が関わるパブリックスペースデザイン-姫路市における市民・行政・専門家の創造的連携-」（共著、エクスナレッジ、2015年）がある。



### 村山顕人氏(むらやま あきと)

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授

1977年横浜市生まれ。2004年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了、博士（工学）。東京大学国際都市再生研究センター特任研究員、名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻准教授を経て2014年4月から現職。専門は都市計画（特に、環境負荷低減・減災に向けた都市計画、計画策定技法）。共著に「世界のSSD100：都市持続再生のツボ」（彰国社、2008年）、「都市・地域の持続可能性アセスメント」（学芸出版社、2015年）など。名古屋市中区錦二丁目の低炭素地区まちづくりプロジェクトにも参画中。



### 倉成英俊氏(くらなり ひでとし)

株式会社電通 電通総研Bチーム リーダー

アクティブラーニングこんなのどうだろう研究所所長

東京大学工学部機械工学科卒、大学院中退。自称21世紀のブラブラ社員。「気の合う人々と新しい何かを生む」ことを目指し、公/私/大/小/官/民 関係なく活動中。主な仕事に、Japan APEC 2010や東京モーターショー2011、IMF/世界銀行総会2012総合プロデュース、有田焼創業400年クリエイティブアドバイザー、他。グッドデザイン賞、NYADC賞、カンヌ広告祭他受賞多数。パルセロナのMarti Guixeより日本人初のex-designerに認定される。

# 寄付講座「不動産証券化の明日を拓く(三井不動産)」のご紹介

- 三井不動産株式会社は、平成21年4月から東京大学公共政策大学院に寄付講座「不動産証券化の明日を拓く(Envisioning Real Estate Securitization:ERES)」を開設しています。
- 不動産証券化は、機関投資家・個人を含む国内外の幅広い層の投資対象として不動産を巡る新たな資金循環を引き起こし、都市・地域の整備・再生を強く促すことを通じて、日本経済の活性化に貢献してまいりました。
- また不動産証券化は、グローバル化と新たな金融システムの下で、国民財産である不動産の健全な市場構築を牽引し、内需主導型経済の確立により持続的な経済成長を促す重要な手法であると共に、公民連携の効果的利用による都市地域政策や住宅政策の展開に非常に重要な役割を担う手法です。
- 特に、国・地方自治体が、社会・経済構造が大きく転換する中、財政規律を保持しつつ、少子高齢化や低炭素社会に対応した都市構造を維持・更新していくためには、PFI、コンセッション等公民連携に基づく広義の不動産証券化手法が、従来以上にその有用性を増していくことが見込まれます。
- 本講座は、こうした将来の政策課題に対応し、産学官が連携し、有効に政策展開するのに必要な研究を実証的に行うと共に、それに必要な人材を広く国内外から求め、育成していくことを目的とするものです。
- また、本講座の研究成果は、シンポジウムやセミナーの開催等を通じて社会に還元し、不動産証券化に関する正しい知識の普及と教育に貢献すると共に、海外を含み、不動産証券化に関連した産学官の幅広い交流の基点となることを期待しています。

## 会場案内図



東京大学公共政策大学院  
Graduate School of Public Policy

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 第2本部棟6F  
お問い合わせ先: eres-office@pp.u-tokyo.ac.jp

[公開フォーラムのお申し込み]

ホームページ内のお申し込みフォームよりお申込みください

<http://mfec.jp/>